

IV 資料（調査票）

（次ページ参照）

敬老優待乗車証の利用実態等に関するアンケート

日頃から、札幌市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、札幌市では、敬老優待乗車証の利用実態等を把握し、今後の事業運営の参考にさせていただくため、「敬老優待乗車証の利用実態等に関するアンケート調査」を実施することにいたしました。

突然のお願いで、誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

1 お願いたいこと

この「敬老優待乗車証の利用実態等に関するアンケート」をご記入いただき、同封の返信用封筒に入れて返送してください。

2 今回お送りしたもの（2点）

- このアンケート
- 返信用封筒

3 調査対象者

敬老優待乗車証は、札幌市内の70歳以上の方が利用できる制度であるため、今回のアンケート調査は、70歳以上の方を対象に、無作為抽出（くじ引きのような方法）により、8,000名の方を選定させていただきました。

現在、敬老優待乗車証を利用されていない方も調査の対象としていますので、ご協力をお願いいたします。

4 個人情報の保護について

このアンケートは無記名でご回答いただくものであり、回答結果は統計的に処理し「こういうご意見が○%」というように表にまとめますので、個人の情報が公表されることはありません。

5 ご記入にあたって

- このアンケートは、平成30年8月1日現在の状況で記入してください。
- ご本人（封筒のあて名の方）の状況について、ご記入ください。
- ご本人の記入が難しい場合は、ご本人の状況について、ご家族の方が答えられる範囲で代わりにご記入願います。
- ご使用いただく筆記用具はどのようなものでも構いません。

6 ご回答の期限

ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、無記名のまま、切手を貼らずに、平成30年8月14日（火）までに、郵便ポストへ投函してください。

● 問合せ先

札幌市 保健福祉局 高齢保健福祉部 高齢福祉課
電話 011-211-2976（午前8時45分～午後5時15分）

1 あなたとご家族の状況について

質問 1 あなたの平成 30 年 8 月 1 日現在の年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 70 歳～74 歳 | 2. 75 歳～79 歳 | 3. 80 歳～84 歳 |
| 4. 85 歳～89 歳 | 5. 90 歳以上 | |

質問 2 あなたの性別について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

質問 3 あなたのお住まいの区について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|--------|---------|-----------|--------|
| 1. 中央区 | 2. 北区 | 3. 東区 | 4. 白石区 |
| 5. 厚別区 | 6. 豊平区 | 7. 清田区 | 8. 南区 |
| 9. 西区 | 10. 手稲区 | 11. 札幌市以外 | |

質問 4 あなたの現在のお住まいについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. ご自宅（借家や親族との同居を含む） |
| 2. 老人ホーム等の施設 |
| 3. その他（ ） |

質問 5 あなたの世帯構成について、同居している方すべてに○をつけてください。

※ 単身世帯の方は、どこにも○をつけしないでください。

- | | | | |
|---------|----------|--|------|
| 1. 親 | 2. 配偶者 | 3. 子 | 4. 孫 |
| 5. 兄弟姉妹 | 6. 友人・知人 | 7. その他（ ） | |

質問 10 あなたご自身の昨年 1 年間の収入について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

※ 収入には、給与や年金のほか、生活保護費などを含みます。

※ 1 年間の金額が分からない場合は、1 か月分を 12 倍するなどして計算してください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 50 万円未満 | 2. 50 万円以上 100 万円未満 |
| 3. 100 万円以上 150 万円未満 | 4. 150 万円以上 200 万円未満 |
| 5. 200 万円以上 250 万円未満 | 6. 250 万円以上 300 万円未満 |
| 7. 300 万円以上 400 万円未満 | 8. 400 万円以上 500 万円未満 |
| 9. 500 万円以上 | |

質問 11 あなたの世帯（同居のご家族全員）の昨年 1 年間の収入について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

※ 収入には、給与や年金のほか、生活保護費などを含みます。

※ 1 年間の金額が分からない場合は、1 か月分を 12 倍するなどして計算してください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 50 万円未満 | 2. 50 万円以上 100 万円未満 |
| 3. 100 万円以上 150 万円未満 | 4. 150 万円以上 200 万円未満 |
| 5. 200 万円以上 250 万円未満 | 6. 250 万円以上 300 万円未満 |
| 7. 300 万円以上 400 万円未満 | 8. 400 万円以上 500 万円未満 |
| 9. 500 万円以上 | |

質問 12 あなたの運転免許の状況について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1. 免許を持っていて、運転している |
| 2. 免許を持っているが、運転していない |
| 3. 免許を持っていたが、返納した |
| 4. 免許を持ったことがない |

2 外出や公共交通機関の利用の状況について

質問 13 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|------------|---------|
| 1. ほぼ毎日（週5日以上） | 2. 週に数回 | 3. 月に数回 |
| 4. 年に数回 | 5. 外出していない | |

質問 14 あなたは、どのくらいの頻度で公共交通機関（市電、地下鉄、バスなど）を利用していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|------------|---------|
| 1. ほぼ毎日（週5日以上） | 2. 週に数回 | 3. 月に数回 |
| 4. 年に数回 | 5. 利用していない | |

質問 15 あなたは、下記の交通機関や移動手段をどのくらいの頻度で利用していますか。
ア～クそれぞれについて、「ほぼ毎日利用している」「週に数回利用している」「月に数回利用している」「ほぼ利用していない」のいずれか1つに○をつけてください。

	ほぼ毎日 利用している	週に数回 利用している	月に数回 利用している	ほぼ利用 していない
エ. 地下鉄	○			
イ. バス		○		
ウ. 市電				○
ア. 地下鉄				
イ. バス				
ウ. 市電				
エ. JR（鉄道）				
オ. タクシー				
カ. 自家用車				
キ. 自転車				
ク. その他（ ）				

質問 16 あなたが、公共交通機関（市電、地下鉄、バスなど）を利用される目的について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------------|
| 1. 買い物 | 2. 通院 | 3. 趣味 |
| 4. 家族や友人と会う | 5. ボランティア活動 | 6. 通勤 |
| 7. その他（ | ） | 8. 公共交通機関を利用していない |

質問 17 公共交通機関（市電、地下鉄、バスなど）を利用する頻度について、あなたは、5年前と比べてどのように変化していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 増えた | → 「質問 18」にお進みください。 |
| 2. やや増えた | → 「質問 18」にお進みください。 |
| 3. どちらともいえない | → 「質問 19」にお進みください。 |
| 4. やや減った | → 「質問 19」にお進みください。 |
| 5. 減った | → 「質問 19」にお進みください。 |

<この質問は、質問 17 で「1. 増えた」または「2. やや増えた」と回答された方におたずねします>

質問 18 公共交通機関（市電、地下鉄、バスなど）の利用が増えた理由について、主なもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 敬老優待乗車証を利用するようになったため | |
| 2. 通院する回数が増えたため | |
| 3. 趣味などで外出する機会が増えたため | |
| 4. 自家用車の利用を減らした、もしくは、やめたため | |
| 5. タクシーの利用を減らした、もしくは、やめたため | |
| 6. その他（ | ） |

<ここから質問 27 までは、質問 19 で「1. 受けている」と回答された方におたずねします>

質問 22 あなたが、昨年度（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）に、敬老優待乗車証（紫色の IC カード）にチャージした金額について、あてはまるもの1 つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 10,000 円分（自己負担 1,000 円） | 2. 20,000 円分（自己負担 3,000 円） |
| 3. 30,000 円分（自己負担 6,000 円） | 4. 40,000 円分（自己負担 8,000 円） |
| 5. 50,000 円分（自己負担 10,000 円） | 6. 60,000 円分（自己負担 13,500 円） |
| 7. 70,000 円分（自己負担 17,000 円） | 8. チャージしなかった |
| 9. 昨年度は対象者ではなかった（70 歳未満） | |

質問 23 あなたが、昨年度（平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月）に、敬老優待乗車証（紫色の IC カード）を利用した金額について、あてはまるもの1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 10,000 円未満 | 2. 10,000 円以上 20,000 円未満 |
| 3. 20,000 円以上 30,000 円未満 | 4. 30,000 円以上 40,000 円未満 |
| 5. 40,000 円以上 50,000 円未満 | 6. 50,000 円以上 60,000 円未満 |
| 7. 60,000 円以上 70,000 円未満 | 8. 70,000 円（上限額全額） |
| 9. 昨年度は対象者ではなかった（70 歳未満） | |

質問 24 あなたは、敬老優待乗車証（紫色の IC カード）を利用して外出される際、どのくらい歩きますか。1 回に出かけた際の平均の歩行時間を記入してください。

※ 歩行時間は、自宅から駅やバス停までの移動、買い物先などの目的地での移動を含めた合計の時間としてください。

<input type="text"/>	分
----------------------	---

質問 25 あなたは、敬老優待乗車証（紫色の IC カード）を利用して外出される際、買い物代や飲食代、娯楽費などに、どのくらいのお金を使いますか。最近 1 か月間を振り返っていただき、1 回に出かけた際に使う平均の金額を記入してください。

※ 買い物代や飲食代、娯楽費などの合計額とし、交通費と医療費のみ除いてください。

<input type="text"/>	円
----------------------	---

質問 26 敬老優待乗車証が、あなたの外出などにどのように影響しているか、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 外出をする機会が増えている
2. 遠くまで出かける機会が増えている
3. 家族や友人と出かける機会が増えている
4. タクシーや自家用車を利用する機会が減っている
5. その他 ()
6. 特に影響があるとは思わない

質問 27 もしも、敬老優待乗車証を利用できる金額が少なくなった場合、あなたの「市電」「地下鉄」「バス」を利用する頻度は、どのように変化すると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 減ると思う
2. どちらかといえば、減ると思う
3. 変わらないと思う
4. 分からない

<ここからは、皆さまにおたずねします>

質問 28 敬老優待乗車証の制度が及ぼす効果について、あなたが、効果があると感じることすべてに○をつけてください。

1. 高齢者への敬愛が示され、市民に敬老の心を広める効果
2. 高齢者の外出意欲が高まり、健康増進や介護予防を推進する効果
3. 高齢者の公共交通機関の利用機会が増え、交通渋滞や交通事故を減らす効果
4. 高齢者の買い物や外食をする機会が増え、消費を増やす効果
5. 高齢者の社会参加が促進され、生きがいを増やす効果
6. その他 ()
7. 特に効果があるとは思わない

4 敬老優待乗車証の制度について

質問 29 平成 29 年 4 月から、敬老優待乗車証は、磁気カードから IC カードに変わりましたが、IC カードに変わり、あなたは、便利になったと思いますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 便利になった | → 「質問 30」にお進みください。 |
| 2. どちらかといえば、便利になった | → 「質問 30」にお進みください。 |
| 3. どちらともいえない | → 「質問 31」にお進みください。 |
| 4. どちらかといえば、不便になった | → 「質問 31」にお進みください。 |
| 5. 不便になった | → 「質問 31」にお進みください。 |
| 6. 敬老優待乗車証を利用していない | → 「質問 31」にお進みください。 |

＜この質問は、質問 29 で「1. 便利になった」または「2. どちらかといえば便利になった」と回答された方におたずねします＞

質問 30 あなたは、敬老優待乗車証が IC カードに変わり、どの点で便利になったと感じましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 乗り降りがスムーズになったこと |
| 2. すべての郵便局（簡易郵便局を除く）でチャージが可能になったこと |
| 3. 1 年を通じて、自分の必要なタイミングでチャージをすることができるようになったこと |
| 4. 有効期限がなくなり、残額を翌年度以降に持ち越すことができるようになったこと |
| 5. カードを紛失した際に、残額を残した状態での再発行が可能となったこと |
| 6. その他（ ） |

＜ここからは、皆さまにおたずねします＞

質問 31 あなたは、敬老優待乗車証制度の運営に、年間約 40 億円（平成 30 年度予算）の市税が使用されていることをご存知でしたか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

質問 32 高齢化の進展に伴い、敬老優待乗車証の運営費が増加傾向にあります。現在、敬老優待乗車証は1,000円～17,000円の自己負担で10,000円～70,000円分の利用が可能となっていますが、あなたは、この自己負担について、どのようにお考えですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 現在よりも自己負担割合を減らしたほうが良いと思う
2. 現在の自己負担割合を維持したほうが良いと思う
3. ある程度の自己負担割合の増はやむを得ないと思う
4. 現在よりも自己負担割合を増やしたほうが良いと思う

質問 33 敬老優待乗車証は、札幌市内の70歳以上の方が利用できる制度ですが、札幌市の平均寿命は、制度開始当初の昭和50年から、男性で7.8歳、女性で9.7歳延びています。敬老優待乗車証の対象年齢について、あなたは、どのようにお考えですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 例えば、65歳からにするなど、現行よりも引き下げたほうが良いと思う
2. 現行の年齢（70歳から）のままで良いと思う
3. 例えば、75歳からにするなど、現行よりも引き上げたほうが良いと思う
4. その他（）

※ 参考 札幌市における平均寿命（男性）昭和50年：72.8歳 → 平成28年：80.6歳
（女性）昭和50年：77.4歳 → 平成28年：87.1歳

質問 34 敬老優待乗車証の制度に関するご意見やご要望(充実を望むことなど)がありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒に入れて、無記名のまま、切手を貼らずに、平成30年8月14日（火）までに、郵便ポストへ投函してください。

平成 30 年度 敬老優待乗車証利用実態等調査 報告書

平成 30 年（2018 年）12 月 発行

編集・発行

札幌市保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課

〒060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

電話 | 011-211-2976 FAX | 011-218-5179

SAPPORO

市政等資料番号 | 01-F03-18-2314